

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校北海道サイバークリエイターズ大学校
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	情報システム学科（2年制）	夜・通信	20 単位 (300 時間)	7 単位 (160 時間)	
	情報システム学科（3年制）	夜・通信	20 単位 (300 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ゲームクリエイター学科（3年制）	夜・通信	16 単位 (270 時間)	10 単位 (240 時間)	
	CG デザイナー学科（3年制）	夜・通信	13 単位 (270 時間)	10 単位 (240 時間)	
	先端テクノロジー学科（4年制）	夜・通信	33 単位 (495 時間)	13 単位 (320 時間)	
	DX エンジニア学科	夜・通信	24 単位 (360 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ゲームクリエイター学科	夜・通信	16 単位 (360 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ゲームエンジニア学科	夜・通信	10 単位 (300 時間)	10 単位 (240 時間)	
	CG 学科	夜・通信	10 単位 (300 時間)	10 単位 (240 時間)	
(備考) 1 令和7年4月1日 学科名称変更 (1) DX エンジニア学科（新名称：情報システム学科（3年制）） (2) CG 学科（新名称：CG デザイナー学科（3年制）） 2 令和7年4月1日 学科統合に伴う学科名称変更 (1) ゲームクリエイター学科及びゲームエンジニア学科 （新名称：ゲームクリエイター学科（3年制）） 3 () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき 「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校北海道サイバークリエイターズ大学校
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人吉田学園ホームページ https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 取締役会長	令和7年6月10日から 令和9年度の 定時評議員会 終結まで	経営企画及び管理
非常勤	株式会社 代表取締役 会長	令和7年6月10日から 令和9年度の 定時評議員会 終結まで	学外者からの視点 による運営体制等 のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校北海道サイバークリエイターズ大学校
設置者名	学校法人 吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・12月～2月にかけて、各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画(シラバス)案の提出。 ・2月～3月上旬に、学科会議にて認定を行う。 ・4月新生オリエンテーション時に、認定後に作成した授業計画(シラバス)と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生へ公表(データ配信)。 ・ホームページにて、情報公表をしている。	
授業計画書の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他(授業態度等)にて適正に評価を行っている。 1年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりS～Dに分類、うちS～Cを合格とし履修を認定している。2年生以上の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則(教務内規)」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議(9月下旬 全学生) ・卒業判定会議(3月上旬 卒業対象学生) ・進級判定会議(3月下旬 進級対象学生)	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・成績管理システムにおいて、認定単位以外の科目について 100 点満点で成績を評点化し、その合計および平均点を算出。学科・学年別に成績の分布状況を分析するための人数分布表を作成し、全体の成績傾向を把握する ・学習成績を年 2 回通知し、学校生活の状況報告や成果報告を行っている。学生へ提示することで、自身の相対的な位置を把握し、学習意欲の高揚を促す対応を行っている。 ・クラス担任制を導入し、早期段階での注意喚起と上長職による更なる段階的指導を行うことで、組織的な支援を行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校北海道サイバークリエイターズ大学校
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
財産目録	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
事業報告書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
監事による監査報告（書）	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	情報システム学科（２年制）			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	90 単位 (1,845 時間)	80 単位 (1200 時間)	31 単位 (1185 時間)			
			111 単位 (2,385 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		39 人	18 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。1年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりS～Dに分類、うちS～Cを合格とし履修を認定している。2年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教

務内規)」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （0％）	0人 （0％）	0人 （0％）	0人 （0％）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和8年度が完成年度のため対象者なし			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	1人	4.2％
（中途退学の主な理由） 問題行動のため退学処分		

(中退防止・中退者支援のための取組)

(学業不振者)

単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。

(その他)

クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。

①学科等の情報

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士	
工業		専門課程	情報システム学科（3年制）			○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼間	109 単位 (2,640 時間)	84 単位 (1290 時間)	53 単位 (1890 時間)				
			137 単位（3,180 時間）					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
70 人		20 人	5 人	4 人	2 人		6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。1年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりS～Dに分類、うちS～Cを合格とし履修を認定している。2年生以上の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和 9 年度が完成年度のため対象者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野	課程名		学科名			専門士	高度専門士	
工業	専門課程		ゲームクリエイター学科（３年制）			○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
	３年	昼間	96 単位 (2, 640 時間)	56 単位 (840 時間)	71 単位 (2340 時間)			
			127 単位（3, 180 時間）					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数		総教員数
70 人		38 人	0 人		4 人	1 人		5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。1年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりS～Dに分類、うちS～Cを合格とし履修を認定している。2年生以上の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和 9 年度完成年度のため対象者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	4 人	14.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士	
工業		専門課程	CG デザイナー学科（３年制）			○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
３年	昼間	96 単位 (2, 640 時間)	54 単位 (810 時間)	72 単位 (2370 時間)				
			126 単位（3, 180 時間）					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人		37 人	1 人	3 人	2 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。1 年生の各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により S～D に分類、うち S～C を合格とし履修を認定している。2 年生以上の各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9 月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3 月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3 月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和 9 年度が完成年度のため対象者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	3 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名			専門士	高度専門士	
工業	専門課程	先端テクノロジー学科（４年制）				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	４年	昼間	135 単位 (3, 360 時間)	情報 92 (1380) ゲーム 56 (840) CG 54 (810)	情報 77 (2820) ゲーム 103 (3360) CG 104 (3390)		
情報：169 単位（4, 200 時間） ゲーム：159 単位（4, 200 時間） C G：158 単位（4, 200 時間）							
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数	総教員数
40 人		15 人	2 人	8 人		5 人	13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。1年生の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりS～Dに分類、うちS～Cを合格とし履修を認定している。2年生以上の各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をし

ている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) 令和 10 年度が完成年度のため対象者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人	20.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	D Xエンジニア学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	133 単位 (2, 610 時間)	102 単位 (1530 時間)	35 単位 (1080 時間)	10 単位 (450 時間)		
			147 単位 (3, 060 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		16 人	2 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (93.3%)	1 人 (6.7%)
(主な就職、業界等) Avinton ジャパン株式会社、株式会社北海道総合技術研究所、株式会社インプル、日本ソフト技研株式会社、ダイヤモンドヘッド株式会社、株式会社 Fusion、他			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験合格率 62.5% 応用情報技術者試験 2 名合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	ゲームクリエイター学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	108 単位 (2, 580 時間)	56 単位 (840 時間)	57 単位 (1740 時間)	10 単位 (450 時間)			
			123 単位 (3, 030 時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		23 人	1 人	4 人	1 人	5 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生） ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生） ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (90%)	3 人 (10%)
(主な就職、業界等) 株式会社スマイルブーム、ダットジャパン株式会社、株式会社エイティンク、株式会社セガ札幌スタジオ、株式会社グループボックスジャパン、株式会社ハ・ン・ド、株式会社ロケットスタジオ、株式会社マイティークラフト、株式会社サイバーコネクトツー 他			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	1 人	1.85%
(中途退学の主な理由) 学校不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームエンジニア学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	125 単位 (2, 610 時間)	86 単位 (1290 時間)	42 単位 (1320 時間)	10 単位 (450 時 間)		
			138 単位 (3, 060 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		11 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 都築テクノサービス株式会社、株式会社アド・エイト、株式会社インフィニットループ、株式会社キングポーン、株式会社ドリコム 他			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	C G 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	110 単位 (2, 610 時間)	54 単位 (810 時間)	60 単位 (1800 時間)	10 単位 (450 時間)		
			124 単位 (3, 060 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		17 人	0 人	3 人	2 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生には入学時に公開している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。

- ・前期成績判定会議（9 月下旬 全学生）
- ・卒業判定会議（3 月上旬 卒業対象学生）
- ・進級判定会議（3 月下旬 進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

（概要）

学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則は学生便覧へ明記し入学時に学生へ公開している。卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。・授業料等の納入金が全納されていること・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (87.5%)	4 人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 株式会社カプコン、ジェムドロップ株式会社、株式会社ウタリカ、株式会社オー・エル・エム・デジタル、株式会社 CygamesPictures、神中央薬品株式会社 他			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	1 人	3.30%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) (学業不振者) 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 (その他) クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
情報システム学科(2年制)	100,000 円	750,000 円	375,000 円	その他:入学検定料、 教育充実費
情報システム学科(3年制)	100,000 円	750,000 円	375,000 円	
ゲームクリエイター学科(3年制)	100,000 円	840,000 円	325,000 円	
CGデザイナー学科(3年制)	100,000 円	820,000 円	325,000 円	
先端テクノロジー学科(4年制)	100,000 円	840,000 円	325,000 円	
D Xエンジニア学科	100,000 円	730,000 円	220,000 円	
ゲームクリエイター学科	100,000 円	840,000 円	220,000 円	
ゲームエンジニア学科	100,000 円	840,000 円	220,000 円	
C G 学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/		
学校評価の基本方針(実施方法・体制)		
・学校関係者評価委員会は、卒業生、保護者、地域住民、提携企業等の役職員2名以上により構成する。 ・当該委員会は、校長が招集し、委員の過半数の出席をもって1年度内に1回以上開催する。 ・当該委員会は、原則次の事項について意見・評価を行う ・教育理念・目標 ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の受け入れ募集 ・財務状況 ・法令等の遵守 ・社会貢献・地域貢献・交際交流等 ・委員会実施後、学校(校長)は当該委員会においての意見・評価、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努め、学校運営や教育実践力等の向上を図るものとする。		
学校評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社テクタス	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員・卒業生
北15条東6丁目親交会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	地域住民

保護者	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	PTA
学校評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/		
(備考)		
第三者評価が未実施 学校関係者評価結果につきましては、本学園規程により、原則、自己点検・評価終了後3ヶ月以内に開催することになっており、今年度は8月の開催を予定しているため、現在公開されているものが最新となる。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H101310300047
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校北海道サイバークリエイターズ大学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 吉田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		88人（ 30）人	90人（ 33）人	94人（ 33）人
内 訳	第Ⅰ区分	35人	27人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(一人)	
	第Ⅱ区分	一人	13人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(一人)	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(一人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	14人	15人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	11人	15人	
	区分外（多子世帯）	11人	11人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				94人（ 33）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	一人	0人
計	0人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考) 退学者3名の内、1名死亡のため除籍	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	一人	0人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	一人	一人	0人
計	19人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。